

平成22年第2回臨時会 壱岐市議会 会議録(第1日)

議事日程(第1号)

平成22年2月17日 午前10時00分開会、開議

日程第1	会議録署名議員の指名		15番 久間 進 16番 大久保洪昭
日程第2	会期の決定		1日限り
日程第3	議案第3号	平成21年度壱岐市一般会計補正予算(第9号)	財政課長 説明 質疑、 委員会付託省略、可決
日程第4	議案第4号	平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	建設担当理事 説明 質疑なし、 委員会付託省略、可決
日程第5	議案第5号	平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	建設担当理事 説明 質疑なし、 委員会付託省略、可決

本日の会議に付した事件

(議事日程第1号に同じ)

出席議員(20名)

1番 久保田恒憲君	2番 呼子 好君
3番 音嶋 正吾君	4番 町田 光浩君
5番 深見 義輝君	6番 町田 正一君
7番 今西 菊乃君	8番 市山 和幸君
9番 田原 輝男君	10番 豊坂 敏文君
11番 中村出征雄君	12番 鷓瀬 和博君
13番 中田 恭一君	14番 榊原 伸君
15番 久間 進君	16番 大久保洪昭君
17番 瀬戸口和幸君	18番 市山 繁君
19番 小金丸益明君	20番 牧永 護君

欠席議員(なし)

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

事務局長 松本 陽治君 事務局次長 加藤 弘安君
事務局係長 瀬口 卓也君 事務局書記 村部 茂君

説明のため出席した者の職氏名

市長 白川 博一君 副市長 久田 賢一君
教育長 須藤 正人君
吉岐島振興推進本部理事 松尾 剛君
市民生活担当理事 山内 達君 保健環境担当理事 山口 壽美君
産業経済担当理事 牧山 清明君 建設担当理事 中原 康壽君
消防本部消防長 松本 力君 病院事業管理監 市山 勝彦君
総務課長 堤 賢治君 財政課長 浦 哲郎君
政策企画課長 山川 修君 管財課長 中永 勝巳君
会計管理者兼会計課長 目良 強君
教育次長 白石 廣信君

午前10時00分開会

議長（牧永 護君） 皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は20名であり、定足数に達しております。ただいまから平成22年第2回吉岐市議会臨時会を開会いたします。

これから議事日程表第1号により、本日の会議を開きます。

・

日程第1．会議録署名議員の指名

議長（牧永 護君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、吉岐市議会会議規則第81条の規定により、15番、久間進議員及び16番、大久保洪昭議員を指名いたします。

・

日程第2．会期の決定

議長（牧永 護君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は本日1日としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は本日1日と決定

しました。

ここで市長から発言の申し出がっておりますので、これを許します。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） おはようございます。ごあいさつを申し上げます。

本日ここに平成22年第2回市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、御健勝にて御出席賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、本臨時会に御審議をお願いいたします議案につきましては、平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）ほか予算案2件でございます。総額7.2兆円規模の「明日の安心と成長のための緊急経済対策」と銘打った平成21年度国の第2次補正予算が1月28日に成立いたしました。このうち地方への支援といたしまして、地域活性化・きめ細やかな臨時交付金が創設され、5,000億円が盛り込まれております。これは地方単独事業で公共施設の整備、修繕等に係る事業も対象になるものでございまして、本市につきましては3億2,523万8,000円の1次配分がっております。この趣旨に沿って各種公共施設の補修や改修、そして道路、橋梁、河川等の整備または補修等を予算計上し、本臨時議会に提出いたしてございまして、御決定の上は早期執行を図り、本市の経済対策、雇用対策につなげてまいります。

さて、3月14日、いよいよ間近に迫ってまいりました一支国博物館のオープンに向け、諸準備も最終段階に入っております。また、議員各位、各自治公民館長様にはPRを兼ねた内覧会を実施したところでございますが、今後、両高校生、そして報道機関を対象に実施することといたしております。また、県の補助事業として、一支国博物館と原の辻遺跡公園、両施設間の移動のための公用車の購入につきましても本補正予算案に計上し、御審議を賜ることといたしております。議員各位におかれましては、何とぞ御決定を賜りますようお願いいたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

日程第3．議案第3号～日程第5．議案第5号

議長（牧永 護君） 日程第3、議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）から、日程第5、議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）までの3件を議題とします。

ただいま上程いたしました議案について提案理由の説明を求めます。白川市長。

〔市長（白川 博一君） 登壇〕

市長（白川 博一君） 本日の議案につきましては、担当理事及び担当課長に説明をさせますのでよろしくをお願いいたします。

〔市長（白川 博一君） 降壇〕

議長（牧永 護君） 浦財政課長。

〔財政課長（浦 哲郎君） 登壇〕

財政課長（浦 哲郎君） 議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）について御説明申し上げます。

平成21年度壱岐市の一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億7,324万7,000円を追加し、歳入歳出の予算の総額を歳入歳出それぞれ317億4,619万2,000円とします。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によります。本日の提出でございます。

2ページ、3ページをお開き願います。「第1表 歳入歳出予算補正」、歳入及び歳出について、補正の款項の区分の補正額等については、「第1表 歳入歳出予算補正」の記載のとおりでございます。

まず、本補正予算（第9号）の概要について御説明いたします。

資料の6ページ、資料の最後のページになります。こちらのほうで御説明いたします。国の平成21年度第2次補正予算で「明日の安心と成長のための緊急経済対策」における地域支援として、地方公共団体によるきめ細かなインフラ整備を支援する交付金5,000億円が創設がなされました。第1次交付限度額として4,500億円が設定されております。

今回の地域活性化・きめ細かな臨時交付金の対象事業としては、地元の中小企業等の受注に資するようきめ細かなインフラ整備を想定されております。国の21年度第1次補正予算の経済危機対策臨時交付金は、ソフト・ハード事業を問わず幅広く対象となっておりましたが、今回のきめ細かな臨時交付金は、主に小規模なインフラ整備が想定された交付金となっております。壱岐市に第1次交付限度見込み額の内報を3億2,523万8,000円を受け、所要の予算歳出で3億6,887万2,000円を補正予算として計上いたしております。

なお、今後、第2次配分として、1次交付の残り500億円につきまして、第1次交付限度額を超える地方公共団体であって、本対策の趣旨に沿って効果が高いと認められる事業を実施しようとするものに配分がなされます。

その他、一支国博物館及び原の辻遺跡間移動対策補助金を得て、公用車購入事業を補正をいたしております。

それでは、歳入歳出予算について、事項別明細書により御説明いたします。8ページ、9ページをお開き願います。

歳入から御説明いたします。10款地方交付税、1項地方交付税、1目地方交付税4,585万

円は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業並びに一支国博物館及び原の辻遺跡間移動対策事業公用車購入事業の補助残の財源といたしております。地方交付税の内訳として、普通交付税1,215万4,000円、特別交付税で3,369万6,000円を補正いたしております。

14款国庫支出金、2項国庫補助金、7目総務費国庫補助金、地域活性化・きめ細かな臨時交付金第1次交付限度見込み額3億2,523万8,000円であります。交付算定方法として、人口、財政力、離島、過疎地域等の地域状況に応じて交付算定がなされております。

15款県支出金、2項県補助金、6目教育費県補助金、一支国博物館及び原の辻遺跡間移動対策費補助金215万9,000円は、公用車購入事業費の補助金で補助率は2分の1であります。

次に、10ページ、11ページをお開き願います。歳出について御説明いたします。

2款総務費、1項総務管理費、16目地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として2億9,341万2,000円を補正いたしております。詳細な内容については後ほど説明させていただきます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費で、簡易水道事業特別会計繰り出し金1,546万円は、簡易水道施設改修工事に伴うもので、水中ポンプの更新並びに石田西崎浄水場ろ過池更新工事費で、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を充てております。

7款土木費、6項下水道費、1目公共下水道費で、下水道事業特別会計繰り出し金6,000万円は、郷ノ浦亀川雨水渠改修事業費で、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を充てております。

9款教育費、5校社会教育費、6目文化財保護費、補正額437万5,000円は、原の辻関係の移動用等の公用車購入費で、7人乗りのワゴン車の購入費に係る分であります。

それでは、2款総務費、1項総務管理費の補正予算に計上いたしております地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業について、別紙予算資料で説明をさせていただきます。資料の2ページ、3ページに節ごとの事業内容を記載いたしております。

11節需用費修繕料193万9,000円は、社会教育施設補修費で、文化ホール常盤苑橋梁塗装補修ほか3施設の施設修繕料を補正いたしております。

13節委託料、観光施設改修設計監理委託料ほか24件の設計監理費及び測量設計料等を、総額2,220万9,000円を補正いたしております。

資料3ページから4ページに工事費の事業内容について記載をいたしております。15節工事請負費で2億6,926万4,000円を補正いたしております。3ページから説明をいたします。事業内容は、観光施設補修・改修工事で、少式公園駐車場土留め工事ほか3施設の改修工事費、勝本庁舎屋根防水工事、社会福祉施設改修工事で、芦辺町クオリティライフセンターつばさ空調設備改修ほか4事業の工事費でございます。農業施設関係で農業施設舗装、堆肥センター進入路・構内舗装工事費を、農業施設排水整備工事で、中野郷惣清地区排水路ほか2施設の排水路整

備工事費、市営漁港改修工事費は防舷材設置で、設置箇所は八幡浦漁港 18 本、小崎漁港 75 本、山崎漁港 20 本、計 113 本で、この防舷材は、漁港改修工事で不用となった防舷材を再利用をいたすことといたしております。印通寺港浮き桟橋補修工事は、渡り橋の改修であります。市道舗装補修等工事は、建設課関係で市道木田線から市道錦線までの 10 路線の舗装補修工事、市道南 1 号線及び深串 1 号線舗装工事は農林課関係の舗装工事であります。橋梁補修工事は、郷ノ浦町坪の馬渡線（水畑 2 号橋）及び石田町池田の浦上 2 号線（大谷 3 号橋）の補修工事であります。本 2 橋梁補修は、昨年 12 月に 15 メーター未満の橋梁長寿命化修繕計画において点検を行ったところ、早急に補修の必要があるということでありました。

次に、4 ページをお開き願います。市道排水工事は、郷ノ浦町永田触椎ノ木 2 号線ほか 9 路線の排水整備工事、河川改修工事は、石田町池田川ほか 2 河川の改修工事であります。勝本町湯ノ本の市営山神団地側溝等の改修工事費、校舎等改修工事費は、三島小学校外壁改修工事ほか 8 事業で、特に中学校の統合へ向けての改修工事として、武生水中学校の相撲場改修及び技術室床改修工事並びに田河中学校の床張りかえ及び手すり設置改修工事費であります。社会教育施設改修工事等で、壱岐郷土美術館周辺水害防止工事ほか 2 事業で、それぞれ地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として補正をいたしております。

資料 5 ページをお開き願います。5 ページの中段に修繕料、委託料、工事費の額をそれぞれ事業費内識別に予算を集計し、記載をいたしております。観光施設補修・改修費で 930 万円、庁舎補修費で 425 万円ほかそれぞれの事業費集計額であります。一般会計で 2 款総務費 1 項総務管理費に一括計上いたしております。一括計上の理由として、事業予算の執行が弾力的に運用ができるように、16 目地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業費として予算を計上いたしております。

以上で説明を終わります。御審議のほど何とぞよろしくお願いたします。

〔財政課長（浦 哲郎君） 降壇〕

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

〔建設担当理事（中原 康壽君） 登壇〕

建設担当理事（中原 康壽君） 議案第 4 号平成 21 年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第 6 号）について御説明を申し上げます。

1 ページをお開きいただきたいと思っております。平成 21 年度壱岐市の簡易水道事業特別会計補正予算（第 6 号）は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第 1 条、歳入歳出それぞれ 1,546 万円を追加し、歳入歳出それぞれ 12 億 1,637 万 7,000 円とする。2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。本日の提出でございます。

2 ページ、3 ページをお開きいただきたいと思います。「第1表 歳入歳出予算補正」、歳入の部と歳出の部を記載いたしておりますが、先ほど財政課長からの説明のように、1,546万円は地域活性化・臨時交付金事業の事業でございます。

続きまして、事項別で申し上げますが、8 ページ、9 ページをお開きいただきたいと思います。歳入、4 款繰入金、1 項一般会計繰入金の1,546万円、地域活性化・臨時交付金による一般会計からの繰入金でございます。

続きまして、10 ページ、11 ページをお開きいただきたいと思います。歳出、1 款総務費、1 項総務管理費、2 目施設管理費、1 5 節工事請負費1,546万円は、西崎浄水場ろ過池更新工事及び芦辺地区簡易水道中継ポンプ改修工事分でございます。

以上で議案第4号の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第5号平成21年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第4号）について御説明を申し上げます。

平成21年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正、第1条、歳入歳出それぞれ6,000万円を追加し、歳入歳出それぞれ4億3,830万6,000円とする。2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。本日の提出でございます。

続きまして、2 ページ、3 ページをお開きをいただきたいと思います。「第1表 歳入歳出予算補正」、歳入歳出の補正額を記載をいたしておりますが、先ほどの地域活性化・臨時交付金事業の増額のお願いをするものでございます。

続きまして、8 ページ、9 ページをお開きいただきたいと思います。2、歳入、5 款繰入金1 項一般会計繰入金で6,000万円は、地域活性化・臨時交付金による一般会計からの繰入金でございます。

続きまして、10 ページ、11 ページをお開きいただきたいと思います。歳出、1 款下水道事業費、2 項施設整備費、1 目施設整備費で、1 3 節委託料380万円及び1 5 節工事請負費5,620万円は、亀川地区の総合排水対策として、今回、亀川川の河川改修の関連する工事を補正をいたしております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく御審議賜りますようよろしくお願いいたします。

〔建設担当理事（中原 康壽君） 降壇〕

議長（牧永 護君） 以上で提出議案に対する説明を終わります。これから各議案に対し質疑を行います。はじめに、平成21年度吉崎市一般会計補正予算（第9号）に対する質疑を行います。質疑ありませんか。12番、鵜瀬和博議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 補正予算資料についてちょっとお尋ねをいたします。工事請負

費の国民宿舎の補修ということで、駐車場、空調、水切りというふうにありますけども、今後国民宿舎のあり方について、市長はすべてのいろんな施設については統廃合について検討されるということでしたけども、今後こういった形でされようとしているのか、その点についてお尋ねをいたします。

2点目です。今回、地域活性化・きめ細かな臨時交付金ということで、主に、単独のインフラについて補修をされるわけですが、昨年の地域活性化の経済危機対策臨時交付金ということでかなりの公共事業が発注されたわけですが、今回のきめ細かな臨時交付金というのは、あくまでも優先順位からすれば、前回の経済危機対策臨時交付金に漏れたものの中から優先順位を決めて発注されていると思うんですが、その優先順位の決め方等についてこういった形でされているのか、お尋ねをいたします。

3点目が、今回ぜひ、3億6,000万円ほどの工事等々があるわけですが、こういった吉岐の経済状況も大変厳しい状況でございますので、発注についてはぜひ地元の企業でぜひ発注をお願いしたいと思います、その点についてどのようにされるのか、以上3点についてお尋ねをいたします。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 1点目の国民宿舎については、耐震診断をまずしたいと、今順番がまだ回ってこんもんですからちょっとおくれておりますが、当面耐震診断をするということ。そして、その結果を見て、このままで一体どの程度利用できるのかということ判断をしたいと思います。また、その後の処置については、議会とも御相談しながら進めていきたいと思っております。

2点目、3点目につきましては、担当理事のほうから説明をさせます。

議長（牧永 護君） 浦財政課長。

財政課長（浦 哲郎君） まず、優先順位でございますが、基本的には工事関係では、振興計画並びに新年度予算等を見比べて、要求段階で、緊急性のある事業から今回の分は優先順位をさせていただきます。

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） 工事請負費の発注につきましては、できる限り地元の企業を優先をしてやりたいと思っております、特に建設部門につきましては、今回は地元の業者を最優先にしてやっていくつもりでございます。

議長（牧永 護君） 鵜瀬和博議員。

議員（12番 鵜瀬 和博君） 国民宿舎につきましては、いろんな形で改修等々が随時出ているようですので、その辺につきましては、今後、耐震の結果を受けて、市長が議会と相談しながら

ら今後のあり方については検討するということですので、ぜひ、なるべくお金を使わないような形で今の現状を維持できれば、していかないと、万が一、建てかえとなった場合にはすべて無駄になるわけですので、やっぱり長期計画にのっとって、今後、緊迫した財政状況でもありますし、その辺も含めてぜひ検討をいただきたいと思います。

また、2点目の優先順位につきましては、緊急性ということで、特に安全・安心の部分が一番だろうと思いますので、その辺につきましては今後も重点的に、また、いろんな各公民館からの要望もいろいろ出ているようですので、その辺も加味しながら今後地元企業に発注できる工事をぜひしていただきたいと思います。

今度、市道の舗装が出てますけども、これは多分路線の一部だけだろうと思いますけども、今後、補修をした後にその路線については再度ずっと延長して補修をされていくのか、その点を再度お尋ねをいたします。

また、今回の工事、建設部分については地元企業にぜひお願いしたいということですので、そういった形でぜひ発注については地元企業を優先的に、指名についても発注するようにお願いしたいと思います。

以上、2点目について再度お願いします。

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） 今回は部分的に、一番、特に路面で申し上げますと、路面が荒れているところを優先にやっていくというふうに決定をいたしておりますが、今後はそういった路面の安定、交通の安定性を図るというようなことで、維持管理につきましては財政当局とも十分考慮しながら、一歩ずつではございますが進んでいくと、そういった覚悟で臨んでいきたいと思っておりますから、御理解をいただきたいと思っております。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。17番、瀬戸口和幸議員。

議員（17番 瀬戸口和幸君） 予算の資料の4ページです。社会教育施設改修等で吉岐郷土美術館周辺水害防止ということになってますが、これはどういう状況でどうされようとされているのかということをお聞きします、とりあえず。

議長（牧永 護君） 白石教育次長。

教育次長（白石 廣信君） 瀬戸口議員の御質問にお答えをいたします。

郷ノ浦町の文化センターに隣接をして美術館が設置されておりますけども、大雨のときに上の道路のほうから文化ホールの敷地のほうに水が流れ込んでくるような状況でございます。そのために美術館、そして旧郷土館、その辺付近が浸水をするような状況になっておりますので、その辺の改善を図ろうとするものでございます。

議長（牧永 護君） 瀬戸口和幸議員。

議員（17番 瀬戸口和幸君） 大水のとき、いわゆるあそこら付近が浸水するということですね。ということで、配置から見ますと、文化ホールの東側になるわけですけど、その北側に郷土館、美術館があるわけです。その南側に住宅があります、十八銀行から受けた住宅ですかね。あそこら付近を含んでいるんじゃないかと思うんですが、そこで、今、一応郷土館周辺ということになってますけど、下のほうの住宅のほうが問題あるんじゃないかと思っているんですが、あそこの住宅の関係については大丈夫なんですか。ということは、住宅のほうが低いようですから、あそこら付近を含んでいるのかなと思っているんですが、問題はないんですか。そして、あの住宅は本当に今どれくらい利用されているのかというので、ちょっと外から見る限りは余り入居者はないような気がしますけど、そこら付近はどうなっているんですか。

議長（牧永 護君） 白石教育次長。

教育次長（白石 廣信君） 今回の工事につきましては、文化ホールのほうに流れ込む水をまず防ぐものと、流れ込んできたものが郷土館等に水が入らないように、そういった形の工事をしたということで考えております。住宅については、ちょっと私のほうではちょっと把握をいたしておりません。

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） 文化ホールの横の住宅の件でございますが、これは18年度に三島地区の島の方を対象にした住宅といたしております。それから、今住宅のマスタープランによりまして住宅の建てかえをいたしてありまして、政策空き家等もあそこを利用しているということで、今はっきりした数字は覚えておりませんが、8戸の中で4戸を大体政策空き家にして、今3戸が入居してあると、そのように思っております。

それから、排水の件でございますが、文化ホールからの下流が亀川川になります。今回、まず、亀川川の改修のところが2カ所未改修がございまして、その改修を今回下水道事業で計画をいたしております。ですから、文化ホールの水のほうは、今度の下水道で行います亀川川の排水改修によりまして改善ができると思っております。

それから、あの周辺全部一帯が、全部小山木工所のところに集中して水が参るということで、今回新郷ノ浦港線も完成間近になりますので、その雨水対策等の考慮もいたしまして、下水道で雨水対策ということで県道にも排水を入れるという計画で今進んでおりますので、もうちょっと猶予をいただきまして、そうすれば、今よりも大分改善ができるというようなことで、今回の教育委員会での美術館は、たちまち美術館に水が入らないようにという簡易的な防止の工事だと考えております。ですから、下水道で行います亀川川の改修ができますならば、幾分かの改善ができると、そのように考えております。

議長（牧永 護君） 瀬戸口和幸議員。

議員（１７番 瀬戸口和幸君） 中原理事には次の下水道関係の６，０００万円もその関連でお聞きしたいと思ったのが、それまで答えていただきありがとうございました。そういうことで終わります。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。１０番、豊坂敏文議員。

議員（１０番 豊坂 敏文君） 小学校のトイレ１１カ所ありますが、その補修の内容、特に盈科小学校は、もうこれは下水道に早くつなぐようにこれは質問もしておりましたが、いまだもってつないでない。小学校の校舎のほうについては、これは下水道につないであります、グラウンドあるいはプール関係、こういうところについてもまだ接続はしてないと思うわけですが、その点と両方。

それから、市道関係については、市道の舗装補修関係は出ておりますが、農道関係については緊急性がなかったのか、あるいは全然対象地がなかったのか、この点について、なぜ出てないか、お願いをします。

議長（牧永 護君） 白石教育次長。

教育次長（白石 廣信君） 小学校のトイレの件でございますけども、今回計上しておるものにつきましては、校舎に洋式トイレがないところ、これについて、各階ごとに最低でも１カ所は洋式トイレを設置するというので今回計上させていただいております。

それから、盈科小学校の外便所等の下水道へのつなぎ込み等については、今回のところに入っておりませんし、これにつきましては、ほかの学校等でも外便所等を浄化槽へ、そういったものも設置はできておりませんし、その辺は総合的に計画を立てていきたいということで考えております。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 今回農道の補修がなぜないかという御質問でございます。農道は、農道認定をしておりますのが、つくってまず新しいというところがまず第１点でございます。補修が、耕作道路についての補修というのは出てまいりますけれども、農道として認定している道路というのは、つくって農道認定をしておりますので、まだ新しいという状況で補修を上げてないというところでございます。

次に、補正予算の資料の３ページを見ていただきたいと思います。この中に市道補修ということで、市道南１号線８５０メートルの延長で舗装の補修工事をいたします。これにつきましては、これが圃場整備の道路でございます。本来は農道、耕作道のようなものでございますが、市道認定をしております関係上、市道で予算を計上していると。この１本が舗装の補修工事として農林課から要求しているものでございます。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 豊坂敏文議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） 行政が今下水道も推進している中では、盈科小学校、特に下水道があるところについては早くつなぐべきということを前から言っておりますし、これだけは、一部校舎だけつないでほかのところはつないでないと、プールとか、グラウンドのトイレは下水道につないでないところがありますから、これは早急につなぐべきだということを指示をしておきます。

それから、今理事から話がありましたが、耕作道は農道じゃないんですか。

議長（牧永 護君） 牧山産業経済担当理事。

産業経済担当理事（牧山 清明君） 私が申し上げている農道というのは、農道認定をしている農道という話でございます。ちょっとこれもさかのぼりますけれども、旧町のときから町道並びに農道の整備というのはやっております。これを道路台帳にすべてを、農道でやったものもすべて道路台帳に町道として台帳整備をいたしております。実際、農道というのは認定を以前してなかったわけです。台帳上はこういった農道であっても、市道、今は市道ですけれども、道路台帳に道路として、町道として台帳上なってるわけでございます。ですから、今農道として残っておりますのは、団体営とか、それからふるさと農道でやった分だけ、こういった新しい農道が農道台帳に記載をされているところでございます。ですから、先ほど言います市道南1号線、これも本来は農道であったものを町道認定をしたところでございます。ですから、台帳に載っている農道というのは新しいものだけということでございます。

議長（牧永 護君） 豊坂敏文議員。

議員（10番 豊坂 敏文君） そういう論争はしなくていいわけですが、前、単なる耕作道等があります。これは全部市道ということであれば、市道の中でも、今、各公民館から補修の要請があつてところが多いはずですが、もう現在でも既に路面が荒廃化しているところがあります。通れないところがあります。昨年の予算では四百何十万円も減額した事例もあります。750万円しか補修予算がないのに、450万円も補正した減もありますし、こういう予算を早く執行すべきだと思います。これは国費農道だけが農道じゃないわけで、耕作道も農道があります。そういう中で、この管理については農林関係がやるか、あるいは土木関係がやるかいろいろあると思いますが、耕作道はどちらがやるにしても早う補修はしなくてはならないわけです。新しい国費農道だけ、あるいはふるさと農道だけが農道台帳にあるから、じゃあ農道台帳にないやつはどうするかということになります。ですから、こういう体制づくりは早くこういう機会の中でも対応すべきだと。緊急性があるから言っているわけですから、対応を願いたいという要望をして終わります。

議長（牧永 護君） ほかに。6番、町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） この4ページの市営山神団地の側溝の改修100メートルですが、これ山神団地というのは何年にできて、これ側溝はいつごろできとるんですか。

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） この山神住宅は湯ノ本の郵便局の上にございます簡平の住宅でございまして、昭和45年ぐらいにできてる住宅でございます。ですから、その周辺の側溝整備にも、今のように自由勾配側溝でもなく、現場打ちでございまして、若干狭隘な部分もございまして排水が悪いということで、周辺の整備を今回住宅のほうからお願いをしたいということで計上をさせていただいております。

議長（牧永 護君） 町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） 昭和45年ですから相当古いんで、側溝もそのときにつくられて、大体どこでも公営住宅、非常に側溝の状態というのは、もう維持補修費が大変なんです。

実は、なぜ聞いたかといったら、実は私がおるところの瀬戸の少式住宅とか大久保住宅とか呼子住宅とか、あそこら辺も非常に古いから、今度建てかえというか、新設する計画が上がっておるわけなんです、実は先の川のほうの住宅のおばあちゃんが、この前私が10日ぐらい前に行ったら、側溝に落ちて足の骨を折っておられるんです。市民病院に行って、この前退院したばかりと言われたんですが、これつい最近も、側溝の穴が広がって、女の子が、そこの足入れて軽いけがをしました。

御存じのように、住宅の前の玄関のところの側溝が多分2枚分、1メートルぐらいの幅しかないんです。このおばあちゃんは「市に何回も言うた」と、「でもやってくれん」と。それで、自分がけがした途端にすぐ、多分あれプラスチック製だと思うんですが、両サイドに広く、2つつくってくれとるんです。その家だけです。その家だけ。けがしたら、けがしたからその家だけやっとなとです。

僕は非常に、ここまで、僕もこれ、なぜかという、何年か前も公民館長を通じて市に、側溝のふたについては非常に危ないから、これ公民館長が夜落ちとるんで、「自分が危ないと思って市に要望したんだ」といって言うてきましたけど。緊急性を言うんだったら、僕は難しい大規模な工事をせろとは言いません。とりあえず、今もうお年寄りが非常に独居が多いんです。だから、これ、もちろん溝掃除等があるんで、1週間に1回ぐらいおばあちゃんたちはみんな自分たちで溝掃除してますから、取り外せやすく、ある程度人が乗っても壊れないような、プラスチック製で、僕はおばあちゃんどこですぐやってもらったようなあれでいいと思うんですが、あれをもう全棟を、公営住宅に、特にあの部分は非常に危ないです。本当に昭和40年代のもうとりあえず安かろう悪かろうで何でもいいけんつくってけでやってますから、これは僕はもうすぐ総点検してもらいたい。こうやって現にけが人が出てます。緊急性とか言うんだったら、これこそ一番

緊急性があることじゃないかと思うんですけど、中原理事、どうですか。

議長（牧永 護君） 中原建設担当理事。

建設担当理事（中原 康壽君） 今御指摘のように、住宅も古い住宅を持っております。ですから、どうしても住宅の裏側がこの山神住宅の排水でございまして、玄関口にある、たまたま山神は裏手に排水があるということで、今町田議員が言われますように、大久保団地あたり、玄関のほうに側溝がついてるところもあります。ですから、以前はふたはもうとにかく玄関先しかありません。そういうことで、先般も芦辺浦の住宅のところの排水整備もこの活性化でやっております。ですから、今言われますように、今後の老人対策、老人対策と言うたら申しわけないですが、そういったお年寄りに向けても、できるだけ側溝ふたは設置をしまいたいと思いますが、何分にも側溝ふたを設置するには、今は落ちふた式ではございませんので、なかなか簡易なものにどうしてもなるわけです。そういうことで、今後うちの住宅班とも十分検討を重ねまして、どうしてもやばいところは先に財政当局にもお願いをいたしまして対応をしまいたいと思います。そういう答弁でよろしゅうございますでしょうか。

議長（牧永 護君） 町田正一議員。

議員（6番 町田 正一君） 市長、僕は別にここの山神団地の側溝をやるなどか何とか言いよるわけじゃないとです。実は一つ問題があると私前から思いよったんですけど、市の職員が、担当というか自分が関係しておった地域のことは、これ結構見回ったりとかやったりして結構それやったりするんです。ところが、そうじゃないところは、普段から何か事故があったときしかそういうふうにしてやらんのです。おばあちゃんの件も、「そりゃ何回も言いよった」と、「もう私はもう年寄りやから、これはもういつ落ちるかわからんから、ここだけはやってくれ」といつてからずっとやったと。それで、結局けがして、足の骨折ってけがして、退院したら、そこのプラスチックの溝ふたみたいなんをやとったと。僕はちょっと後で補償関係もどないなとるんかと、正直言って聞きたいんですけども、緊急性がどうのこうのと言うんだったら、それ別に大規模な工事せろて言いよるんじゃないんです、僕は。プラスチックでいいと、人が乗ってけがせんようなふたをつくってくれと。これは、こんなんはもう壱岐全島の住宅、特に昔の長屋式の住宅です、これはもうどこでもあります。瀬戸も芦辺も八幡もあります。特にさっき今理事が言われたように家の前に側溝があるところ、これは今も、しかも公営住宅に入っておられるのはもう独居のお年寄りとか、もうそういう方ばかりなんです。もう安心して、正直言ってこんなんじゃ僕はもう生活できんと。この前も3週間前に僕、女の子が、コンクリートのやつはどうしてもなかなか工事が大変なんで、僕はプラスチックでいいんです。人が落ちんようにしてくれたらいいんです。昔のやつやから、側溝の高さも結構幅も大きいんです。だから、もうぜひ、これ安心とか緊急性とか言うんだったら、まずこういうのをまず、こういう住宅はいっぱいありますか

ら、家のすぐ玄関の前がすぐ側溝というのを、ここを掃除がいつでもできるように取り外しが自由な、プラスチックでもいいですから、それはもう早急にやってもらいたい。それで、3週間前に僕は市の職員を呼んで、すぐ、「女の子がけがしたから、これすぐやってくれ」といったら、まだその間、またナシのつぶてなんですけども、もう一体職員の連絡体制がどげんなつとるとかと、正直言って。もう少し、それちょっと理事、もう一度早急に、全島的に非常に危険だと、もう老人がおって、それはもうすぐ早急に点検してくれませんか、もう危なくてしょうがない。

議長（牧永 護君） 白川市長。

市長（白川 博一君） 御指摘の点につきましては、正直申し上げて、設置者責任という問題がございます。早急に総点検をさせます。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。13番、中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） だれか御質問があるかと思って待っておりましたが、だれも御質問なさらないようでございますので、私が1件御質問をしたいと思います。

もう言わんでもわかると思いますが、公用車の件です。前回のときに修正をされましたので、それがまた今回、修正をしたあげくにまた修正をして出てきたんだろうと思いますので、深く意見は言いたくないんですけども、何も言わなければ、全議員満場一致で賛成したと言われそうで大変心配でございますし、この臨時議会前に担当の方が各議員の家を回って、ずっと説得に回っておられるようでございますので、そういうこともあっていいのかわかりませんが、住民の皆さんに、議会にもこれだけの考えがあるということを公式の場で言うとかないかんもんですから一言言わせていただきますが、多分電気自動車はもう無理だろうということで、7人乗りのハイブリッドカーを今度購入されるわけでしょうから、ただ、この前私、来られたときに言ったわけですけども、公用車のあり方です。今全体で六百何台か、700台ぐらいあるんですね、壱岐市の公用車。消防署等、病院も入るととかな。消防車等、機械銀行の分も入って600、700台、800台、どっかその辺おると思うんですけども、当初、白川市長がなられたときに、黒塗りの公用車も売却をして、なるべく金のかからないリースとか、そっちのほうに持っていきうということで公用車の台数もだんだん減ってきておりますが、必要性はわかるんです。もうこの前の説明で必要性はわかるんですけども、もっと足りないところあるんです、ほかの部署にも、福祉とかいろいろ、課はわからんけども、保健婦さんたちが乗って回る車少ないとか、いろいろ各課から公用車がだんだん減ってやりにくいという話も出ておるんです。だから、買うなどは言いませんが、これ補助金があるから買うんでしょうけど、もう少し公用車の全体の配分も考えて今後やってほしいと思いますし、片やリースで借りてある、今若干リースが安い、月1万8,000円とかで軽は借りてありますので、なるべく負担にならないようにリースとかいろいろな面でやらないと、補助があるから買って、維持管理費、車検代何だりというのが結構高くな

と思いますので、その辺もう少し考えて、公用車の購入と公用車の配分、その辺も考えてほしいなと思っておりますが。

それと、もう1点、8人乗りがどうしても必要ということですが、観光商工課に多分白の8人乗りおりましたよね。あれ、余り僕、動いているの、たまには見るんですけども、あれに大勢7人も8人も乗って、壱岐中をばんばん走って回っておるような状態ではないので、どうかして、同じ一支国博物館も観光の一環でございますので、そういうのが一緒に共用できないのかなという意見も持っております。ただ、ぜひ必要だから買わせてくださいということですので、あえて修正したやつをまた改めて出してくるということはそれなりの必要性があるというふうに私も思っておりますが、その辺どうですか、考えとして。

議長（牧永 護君） 松尾壱岐島振興推進本部理事。

壱岐島振興推進本部理事（松尾 剛君） 今議員御指摘のとおり、12月議会で予算委員会で御指摘を受けまして、一たん取り下げた内容をまた今回出させていただいております。もう中身は、簡単に説明しますと、本当今議員おっしゃったとおり、電気自動車の御指摘とか、あと一般事業者の使うのが危ないとかいう御指摘がありましたので、今回ハイブリッド車、7人乗り、8人乗りと申し上げたかもしれませんが、7人乗りのほうになると思いますが、1台買わせていただいて、あくまで公用車として使わせていただきたいと思っております。

観光課も確かに1台ありますけれども、今、今後も一支国博物館ができましたので、これを核として交流人口の拡大を図るためには、ぜひ島外に対する情報発信をしたいと思っております。それ今現在やっているところでございますが、実はうちの観光の公用車も実は結構ない場合が多くて、うちの課が使う場合は、通常の場合は庁内のほかの課から借りたりしておりますが、今後ともでき上がって、我々が恐らくというか、まずはエージェント、マスコミ等ぜひ来ていただきたいと思っております。そして、あと視察等もあると思っておりますので、その活用はぜひ、間違いなく活用は十分できるかというふうに考えております。それは観光も含めて活用させていただきたいと思っておりますので、その点はここでそういうことで頑張るということで意思を表明したいと思っております。

また、ちょっと公用車の全体の配分につきましては、もう私のほうでお答えすることはできませんが、ただ、いずれにしても、今回の公用車につきましては、そういう不足されている職場の皆さんたちから文句が出ないような形で熱心に使ってまいりたいと、私のほうからお答えできません点でございます。

以上でございます。

議長（牧永 護君） 中田恭一議員。

議員（13番 中田 恭一君） はい、わかります、利用度はわかります。ただ、もう余りくど

くは言いませんけども、市長にも言っておきたいのは公用車の配分、とにかく必要なところもありますし、不必要とは言いませんけども、若干余り動いてない公用車もありますし、その辺の配分ももう少し考えていかんと、職員が動きにくい部分もありますし、それと、もう1点、今の松尾理事の説明をもう議会でやってください。個人の家に行っても皆さんに伝わりません。だから欲しいんですというのを本議会で言うてくださいよ、当初の説明で。何で1軒1軒回るんですか、皆さんの家を。ちゃんとこういう皆さんにわかる場で、いろんな広報の方も来てありますよ。何も言わんで、僕たちが何も言わんで、はい、賛成ですといったら、何も意見なしで通ったとしか思われんわけです。なるべく選挙と一緒に事前運動はやめていただきたいと思います。本会議でお互い意見を出し合って方向を決めていきたいと思しますので、その辺は今後とも注意をしていただきたいと思います。

以上で終わります。

議長（牧永 護君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑はありませんので、議案第3号の質疑を終わります。

次に、議案第4号平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、議案第4号の質疑を終わります。

次に、議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）に対する質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 質疑がありませんので、議案第5号の質疑を終わります。

以上で議案に対する質疑を終わります。

お諮りします。議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）から議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）についてまでの3件については、壱岐市議会会議規則第37条第2項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。したがって、議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）から議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）についてまでの3件については、委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから各議案に対し討論、採決を行います。

初めに、議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）の討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）を採決します。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（牧永 護君） 起立多数です。したがって、議案第3号平成21年度壱岐市一般会計補正予算（第9号）は原案のとおり可決されました。

次に、議案第4号平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）に対する討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから議案第4号平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）を採決します。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（牧永 護君） 起立多数です。したがって、議案第4号平成21年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）は原案のとおり可決されました。

次に、議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）に対する討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これから議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）を採決します。この採決は起立によって行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

議長（牧永 護君） 起立多数です。したがって、議案第5号平成21年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算（第4号）は原案のとおり可決されました。

以上で予定された議事は終了いたしました。この際、お諮りします。今期臨時会において議決されました案件について、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（牧永 護君） 御異議なしと認めます。そのように取り計らうことに決定いたしました。

・ ・

議長（牧永 護君） 以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして平成22年第2回吉岐市議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時06分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

平成 年 月 日

議 長 牧 永 護

署名議員 久 間 進

署名議員 大久保洪昭

地方自治法第123条第2項の規定により、署名する。

平成 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員